

平成 27 年度 三重県立津西高等学校 学校経営の改革方針

I 目指す学校像（基本理念）

- 生徒一人ひとりのもてる能力を引き出し、その目標実現に向けてサポートを惜しまない学校
- 生徒が高い志をもち、意欲的に取り組む、チャレンジ精神溢れる「文武両道の進学校」
- 地域に貢献し、地域を活性化する力のある学校
- 「サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）」の内容を継承発展させ、国際科学科を中心に、国内外で活躍できる能力と資質をもつ人材を育成する学校

II 現状と課題

知・徳・体のバランスのとれた人間の育成を目指した教育活動を行っています。とりわけ、生徒のほとんどが国公立・難関私立大学等への進学を希望していることから、その進路希望の実現を目指し、学習指導の充実に努めています。また、「文武両道の進学校」を目指し、学校行事や部活動も活発に行われています。

今後も、生徒の進路希望実現のため、生徒一人ひとりの学力向上を目指し、カリキュラムや学習指導・進路指導の工夫・改善に努めることにより、さらなる進学実績の向上を図っていく必要があります。その際、サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）への取り組みを継承発展し、国際科学科だけではなく学校全体の追い風となるようにしていく必要があります。

また、将来、社会において活躍する人材の育成を図っていくためには、積極的な生徒指導を推進する必要があります。

本校は、立地場所の関係から、交通安全教育の一層の充実と共に、通学環境の整備も急務となっています。今後も継続して、保護者、同窓生、地域社会、関係機関等の理解を得て、安全で安心した通学環境の確保に努力する必要があります。

III 中長期的な重点目標

1 学力の向上

(1) 教科指導の充実

- ・ 分かる授業を実践して学習意欲を高め、基礎基本の徹底と応用力の育成を図ります。【わかる授業からできる授業への転換を図る】
- ・ 公開授業を進めることにより、授業力の向上と生徒の学力向上に努めます。
- ・ 各教科科目の学習内容・ねらい・評価方法を明確に提示し、学習意欲の向上と学習の効率化を図ります。
- ・ 校外の研修にも積極的に参加し、授業指導力のスキルアップに取り組みます。

(2) 進路指導の充実

- ・ 個人面談をより充実させ、生徒の能力や適性・希望に基づいた進路指導を行い、進路希望の実現を図ります。
- ・ 課外の工夫改善を図り、授業・課外・補習の一層の組織化と3年間を見通した進学指導体制をつくります。
- ・ 国公立大学、難関私立大学の合格者数の増大を図ります。

2 社会人として活躍する人材の育成

- ・ 積極的な生徒指導を展開し、豊かな人間性の育成に努めます。
- ・ 安全で清潔な校内学習環境の整備に努めます。
- ・ 危機管理意識を高めるとともに、交通安全教育を推進します。

IV 本年度の行動計画

(教科指導)

- 1 分かる授業を行うため、習熟度別学習や少人数学習を実施します。
 - (1) 数学は、2・3年生で習熟度別及び少人数学習を、英語では、各学年で少人数学習を実施します。
 - (2) 定期テストとは別に、宿題テスト、校内実力テスト等を実施します。
 - (3) 宿題などの提出が出来ない生徒に居残り指導を実施します。
- 2 シラバスの一層の充実と活用を行い、学習内容・ねらい・評価方法の明確化により、学習意欲の向上と効率化を図ります。
- 3 公開授業を実施し、外部の声を授業改善に生かします。
- 4 授業時間数を確保します。
 - (1) チャイムと同時に授業を開始します。
 - (2) 曜日による実質授業時間数に偏りが生じないように、曜日変更等を行います。
- 5 授業中心の学習サイクルを確立するとともに、家庭での学習時間を確保するよう指導します。

(進路指導)

- 1 全学年各学期1回の面談週間を実施し、生徒の高校生活の状況や進路希望の把握に努めます。
- 2 「ようこそ先輩」(社会人OBの講話)、外部講師による講演会、卒業生の体験談を聞く会、オープンキャンパスへの参加指導、「津西一日総合大学」を引き続き実施し、生徒のキャリア教育を充実させます。
- 3 早朝課外、放課後課外、土曜課外及び長期休業中の課外を引き続き実施します。
- 4 進路だよりを充実し、生徒のやる気を引き出します。
- 5 進路研修会を開催し、生徒の進路希望について職員の共通理解を図ります。
- 6 国公立大学の合格者数を現役150名以上にします。

(生徒指導)

- 1 常に津西高校生であることを自覚し、行動できる生徒を育てます。
- 2 地震や津波など自然災害に対し、適切な行動ができる生徒を育てます。
- 3 校門指導等により、遅刻の防止とあいさつ指導を徹底します。
- 4 部活動や文化講演会、図書館講座等を通じて豊かな人間性の育成を図ります。
- 5 昨年度(H26)は、いじめ認知件数が0であったが、今後も生徒が安心安全で清潔な環境のもと学校生活を送れるよう、環境整備を含め努力します。
- 6 自転車通学生が多い現状を踏まえ、交通安全に努めます。
 - (1) あらゆる機会を捉え、自転車の乗車マナーを徹底します。
 - (2) 自転車点検を年間1回、自転車のステッカー点検を年間2回実施します。
 - (3) PTA、地域社会及び各関係機関と連携し、通学路の点検及び改善に努力します。
- 7 人権学習に積極的に取り組み、人権感覚溢れる人間性の育成を図ります。

(SPP)

- 過去6年間のSSH事業の成果を継続、発展させるため、将来理系で活躍できる人材を育成していく一環として、津西SPP事業への取組を学校全体で推進していきます。
- 1 三重大学との連携を強化して研究を推進するとともに、地域の小・中学校との連携も行います。
 - 2 生徒の希望に応じた、コース別実習や記念講演会を実施し、事業の成果を発信していきます。

(組織力の向上)

- 1 生徒、保護者、学校関係者評価委員、教職員などへのアンケートを実施、分析し、改善を図りながら、地域に貢献できる学校となるよう努めます。
- 2 中学校(生)や学習塾への積極的広報を行います。また、学校説明会を充実し、参加者数1000名以上を達成します。
- 3 魅力あるホームページ作りに努め、迅速な情報の更新、内容の充実を図り、1日のアクセス数を130件以上にします。
- 4 会議や学校行事等の精選を行い、教員が生徒と向き合う時間の確保に努め、教職員のやりがいを高めます。また総勤務時間の縮減を図るため「定時退校ウィーク」を設けます。
- 5 各教職員が広く知識やスキルを習得するため、研修会に積極的に参加できる、働きやすい職場環境作りに努めます。